

ニューズレター 2011 年度第2号

日本音楽表現学会 2011 年 11 月 30 日発行

会長・理事選挙特集

| | | |
|--|--------|----|
| 1. 【巻頭言】日本音楽表現学会とお金のはなし | 谷口 雄資 | 2 |
| 2. 日本音楽表現学会 2012-2013 年度会長・理事選挙 | 坂東 肇 | 3 |
| ごあいさつ | | 3 |
| 1) 選挙管理委員会の任務 | | 3 |
| 2) 選挙日程 | | 3 |
| 3) 選挙実施方法 | | 3 |
| 4) 選挙公示 | | 4 |
| 5) 会長・理事の推薦・立候補に関する手続き（付・関係各種書式） | | 5 |
| 6) 2012-13 年度会長・理事選挙被選挙・選挙有資格者について | | 7 |
| 3. 【随筆】ルシアン・ガルバンについての覚書 | 赤松 林太郎 | 9 |
| 4. 新入会員紹介 | | 10 |
| 5. 日本音楽表現学会後援コンサート等情報 | | 10 |
| 6. 会員による CD リリース | | 12 |
| 7. 会員による新刊 | | 12 |
| 8. 設立 10 周年記念新事業「研究サロン」の新設 | | 13 |
| 9. 第 10 回大会発表募集 | | 13 |
| 10. 事務局からの重要なお知らせとお願い | | 14 |
| 1) 『音楽表現学』Vol.9 刊行と Vol.10 投稿募集のお知らせ | | |
| 2) 会費納入について | | |
| 3) 正しいメールアドレスと連絡先をお届け下さい！ | | |
| 4) 『音楽表現学』バックナンバー購入方法 | | |
| 5) ニューズレターへの投稿 | | |
| 6) 学会の会員サポート制度をご活用下さい。 | | |
| 7) 各種書式 「入会申込書」「コンサート等後援願」 | | |
| 11. 日本音楽表現学会第 10 回大会のご案内 | | 16 |
| 12. 2011 年度役員 | | 16 |
| 13. 編集後記 | | 16 |

日本音楽表現学会



所在地：〒 616-8025 京都市右京区花園土堂町 1-6

事務局：〒 520-0862 大津市平津 2-5-1 滋賀大学教育学部杉江研究室気付

Tel. & Fax. 077-537-7792

E-mail: music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jmexs/>

年会費 (5,000 円) の振り込み

郵便振込口座：01370=6=78225 加入者名：日本音楽表現学会

日本音楽表現学会とお金のはなし

谷口 雄資（指揮／会計担当理事）

ギリシャに端を発した財政危機は、連鎖的に欧米諸国を巻き込み解決の糸口さえ見えない状況となっています。そしてこの影響が各国の財政や経済活動を苦難に陥れ、さまざまな活動への大きな足かせとなっています。このように財政がひっ迫すると全ての活動に影響を与え組織の活力を衰退させていきます。財政的な裏付けが組織の活動に必須であることは言をまたないでしょう。

昨今の世界経済の混乱の中、音楽表現学会は奇跡的ともいえる健全な財政状況にあり、今後の発展に資するだけの経済力を徐々に蓄えてきています。なぜ音楽表現学会は、世界の財政危機に巻き込まれなかったのか？ 少しオーバーな表現になりましたが、これは本学会の設立に携わった方々の熱い思いと、学会の財政に対する真摯な態度があったから、今日の幸せな状況が生み出されたのだと言えるでしょう。

音楽表現学会は、2003年5月に65名の会員によって第1回の大会が開催されました。学会として活動を維持していくためには、当然財政的な基盤が必要となります。そこで外部から安易に寄付や義援金を募るのではなく、設立に参加された方々が、ある方は定年までの分、ある方はその時の手持ちの現金全てを差し出すなど、会費を前納することによって学会の運営資金を生み出されたのです。会員が身銭を切ってこの学会を立ち上げられたのです。このような設立時の思いがあるからこそ、事務局はどちらを向いても「ケチケチ精神」に満ち溢れ、お金をかけないで自分たちの手で全てを創り上げるという気持ちが強く働いてくるのではないのでしょうか。

この「ケチケチ精神」の一例をあげると、私が編集委員会に初めて出席した折です。朝から夕方までの会議だったので、当然お昼の弁当くらいは出るのではないかと考えていましたが、それは甘い思い込みで、昼食も出ないんです。全てが自前でした。

当時の奥事務局長が「飲み食い」に学会のお金は一切使わないというポリシーを、声高に唱えておられたことを思い出します。これは数年前まで学会の全ての理事会や委員会で徹底されていましたが、そこには、学会のお金は会員から会費として拠出していただいた大切なものだから、「飲み食い」に使っては申し訳ないという共通認識があったのだと思います。

その他、学会運営に必要な印刷物等は、できる限り自前で行い、ギリギリまで印刷費や送料を節約してい

ます。幸い、印刷や紙面のデザイン、校正まで、「奥工房」に自前で印刷機を購入していただき、無料で学会誌と大会要項を除く全ての印刷関係の仕事をこなしてもらっています。それから、事務局関係の仕事も全て学会員のボランティアでやっていただいていたました。

この学会の「ケチケチ精神」をリードしシビアーに実践してこれたのが、会長の奥忍さんです。実に「真面目な節約家」です。というのは、この節約家が研究や大会の充実に関しては思いっきりよくお金を使われることです。ある時、学会誌への応募者が多く、ページ数を1.5倍ほど増やさなければならない事態に陥りましたが、躊躇なく学会誌の増ページを決断されました。もちろん、印刷費は予算をオーバーしてしまいましたが。また「音楽表現学のフィールド」の出版の折には、会計担当として、かなりの額の赤字を覚悟しましたが、結果的には出版社との値引き交渉や出版した全ての本を完売するなど、赤字を出さずに研究成果を手に入れることができました。大会の充実に関する支出の鷹揚さは、数え上げるときがありませんので、割愛させていただきます。会計担当がいかに苦勞しながら、蓄財に励んでいるかをご理解いただければ有難い。

このような厳しい環境の中で、設立当初から会計担当理事として実務面で学会を支え、コツコツとお金を貯め会計の基盤を作られたのが、柳井修さんです。お陰で2010年度に、学会の将来に備えるための基金を設けることができました。それが本年度には250万円となっています。来年度には、もう少し上積みできるのではないかと期待しています。

これまでは、会員の皆様のお力添えもあり、財政的には順風満帆の発展を遂げることが出来ましたが、会員数が350名を超えると、それなりに会費未納者も増えてまいります。さらに事務局の運営や全ての面において、理事や学会員の手仕事に頼るということも限界にきています。間もなく迎える設立10周年を機に、新たな施策が必要となってくるでしょうが、本会には奥さんの後を継ぐ、「真面目な節約家」が大勢育ってきています。それに笑い声が絶えない音楽表現学会には、ユニークな人材が豊富です。本会の財政的な未来は必ずや明るいものとなり、皆さんの研究を支えるものとなることを確信しています。

～～～皆さ～ん！会費の納入を切にお願いします～～～

日本音楽表現学会 2012-2013 年度会長・理事選挙

選挙管理委員長 坂東 肇

ごあいさつ

2012年8月1日～2014年7月31日任期の会長・理事選挙は、井上朋子、中磯子、坂東肇の3名が選挙管理委員会のメンバーとして、業務を担当いたします。間違いが起こらないように慎重に取り組みたいと考えています。

委員会の任務は以下の6点です。前回の選挙の日程を参考に、みなさまのご協力を得ながら、任務を滞りなく進めていきたいと思っております。ご協力をよろしくお願い致します。

1. 選挙管理委員会の任務：

- 1) 選挙日程の作成
- 2) 選挙資格者及び被選挙資格者名簿の作成
- 3) 選挙の公示
- 4) 投票用紙の作成・送付
- 5) 投票用紙の回収・開票
- 6) 選挙結果の報告
- 7) 2012-13年度役員決定の事務手続き

2. 選挙日程：

| | | |
|--------------------|------------------------|--------------------|
| 選挙公示 | 2011年11月30日(水) | 於：「ニューズレター No.2」誌上 |
| 推薦・立候補受付期間 | 2012年1月8日(日)～2月8日(水) | 当日消印有効 |
| 被選挙人名簿、投票用紙等の作成・送付 | 2012年2月12日(日) | 於：学会事務局 |
| 投票期間 | 2012年2月14日(火)～3月15日(木) | 当日消印有効 |
| 開票・選挙結果を会長へ報告 | 2012年3月25日(日) | 於：学会事務局 |

3. 選挙実施方法：以下の規定に基づいて進めます。

日本音楽表現学会選挙規定

- | | |
|---|---|
| 1. 選挙方法は無記名投票による。 | 投票はすべて無効とする。 |
| 2. 投票権者の確認は、返信用封筒に記された発信人名によって行う。発信人名の記入が無いときは、封入されたすべての投票は無効とする。 | 7. 選挙管理委員会は、当選者、次点者および次々点者の氏名と順位、得票数を選挙結果報告書に記載し、開票に立ち会った委員全員の署名を付して会長に提出するものとする。 |
| 3. 投票権者は、選出しようとする者の氏名を選挙管理委員会指定の投票用紙に自ら記入し、これを定められた期日までに委員会に到着するように送付しなければならない。理由の如何を問わず、代理投票は認められない。 | 附則 |
| 4. 投票用紙には、定められた人数以内の被選挙人名を記入するものとし、これを超えて記入した場合は全部無効とする。 | 1. 役員任期は当該年度8月1日から始まるものとする。 |
| 5. 被選挙人名の記載が不明確な票については、選挙管理委員会が有効か無効かの判定を行う。 | 2. 役員に欠員を生じたときは、就任の日から6カ月以内ならば次点者を繰り上げ当選とし、6カ月を越えた場合には、原則としてすみやかに選挙を行い、これを補充する。但し、その任期は前任者の残任期間とする。 |
| 6. 投票用紙または投票用紙用小封筒に、投票者名が特定できる記載がなされているときは、その | 3. 本規定は2004年2月1日から実施する。 |

4. 選挙公示：選挙規程に基づいて、2012-13 年度役員選挙を以下のように公示します。

2012-13 年度役員選挙公示

2011 年 11 月 30 日

日本音楽表現学会会員のみなさま

日本音楽表現学会選挙管理委員会

日本音楽表現学会会則第 11 条、12 条および、日本音楽表現学会役員選出に関する内規に基づき、2012-13 年度の役員選出のための選挙を右記のように行います。

記

選出役員：会長 1 名、理事 6 名

任 期：2012 年 8 月 1 日 (水)～2014 年 7 月 31 日 (木)

方 法：推薦・立候補制

推薦・立候補受付期間：2012 年 1 月 8 日 (日)～2 月 8 日 (水)(当日消印有効)

被推薦者・立候補者の公示：2012 年 2 月 12 日 (日)

投票方法：無記名投票で郵送

投票期間：2012 年 2 月 14 日 (火)～3 月 15 日 (木)(当日消印有効)

開 票：2012 年 3 月 25 日 (日)

(結果を即日会長へ報告、ニューズレター 2011-No.3 に掲載)

結果承認：6 月 23 日 (土) 於：2012 年度総会

5. 会長・理事の推薦・立候補に関する手続き：

推薦・立候補に関する手続きは以下の通りです。本学会の充実と発展のために会長と理事に相応しいと思われる方を候補として選出します。会員のみなさまの積極的な推薦や立候補をお待ちします。

2012-13 年度会長・理事の推薦・立候補に関する手続き

1. 推薦・立候補受付期間：2012 年 1 月 8 日 (日)～2 月 8 日 (水)(当日消印有効)

2. 提出書類：(選挙の告示時に公表)

1) 推薦の場合：以下の 2 点を提出して下さい。なお、様式は (様式 1～4) をご参照下さい。

・ 1 名の推薦につき、推薦者 2 名と推薦理由 A 4 用紙 1 葉

・ 本人の承諾書と簡単な経歴、主な研究業績 5～10 点 A 4 用紙 1 葉

2) 立候補の場合：以下の 2 点を提出して下さい。なお、様式は (様式 5、6) をご参照下さい。

・ 学会に関するポリシー A 4 用紙 1 葉

・ 本人の簡単な経歴、主な研究業績 5～10 点 A 4 用紙 1 葉

3. 郵送先：〒 520-0862 大津市平津 2-5-1

滋賀大学教育学部杉江研究室気付日本音楽表現学会事務局内選挙管理委員会 (当日消印有効)

会長・理事選挙各種様式

| | |
|---|--|
| <p>(様式1)</p> <p>2012-13 年度会長選挙推薦用紙</p> <p>年 月 日</p> <p>以下の会員を、会長候補者として推薦いたします。</p> <p>被推薦者氏名： _____</p> <p>推薦理由：</p> <div data-bbox="199 443 769 734" style="border: 1px solid black; height: 130px; width: 100%;"></div> <p>推薦者氏名(自署)： _____</p> <p>推薦者氏名(自署)： _____</p> | <p>(様式2)</p> <p>2012-13 年度会長選挙推薦承諾書</p> <p>年 月 日</p> <p>会長候補者としての推薦を承諾いたします。</p> <p>被推薦者氏名(自署)： _____</p> <p>経歴：</p> <div data-bbox="847 443 1417 568" style="border: 1px solid black; height: 56px; width: 100%;"></div> <p>主な研究業績(5～10点)：</p> <div data-bbox="847 651 1417 848" style="border: 1px solid black; height: 88px; width: 100%;"></div> |
|---|--|

| | |
|---|---|
| <p>(様式3)</p> <p>2012-13 年度理事選挙推薦用紙</p> <p>年 月 日</p> <p>以下の会員を、理事候補者として推薦いたします。</p> <p>被推薦者氏名： _____</p> <p>推薦理由：</p> <div data-bbox="199 1198 769 1489" style="border: 1px solid black; height: 130px; width: 100%;"></div> <p>推薦者氏名(自署)： _____</p> <p>推薦者氏名(自署)： _____</p> | <p>(様式4)</p> <p>2012-13 年度理事選挙推薦承諾書</p> <p>年 月 日</p> <p>理事候補者としての推薦を承諾いたします。</p> <p>被推薦者氏名(自署)： _____</p> <p>経歴：</p> <div data-bbox="847 1216 1417 1377" style="border: 1px solid black; height: 72px; width: 100%;"></div> <p>主な研究業績(5～10点)</p> <div data-bbox="847 1429 1417 1626" style="border: 1px solid black; height: 88px; width: 100%;"></div> |
|---|---|

| | |
|--|--|
| <p>(様式5) p.1</p> <p style="text-align: center;">2012-13 年度会長選挙立候補用紙</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>私は、会長候補者として立候補いたします。</p> <p>立候補者氏名 (自署) : _____</p> <p>学会に関するポリシー :</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%; margin-top: 10px;"></div> | <p style="text-align: right;">p.2</p> <p>経歴 :</p> <div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div> <p>主な研究業績 (5 ～ 10 点) :</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%; margin-top: 10px;"></div> |
|--|--|

| | |
|--|--|
| <p>(様式6) p.1</p> <p style="text-align: center;">2012-13 年度理事選挙立候補用紙</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>私は、理事候補者として立候補いたします。</p> <p>立候補者氏名 (自署) : _____</p> <p>学会に関するポリシー :</p> <div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%; margin-top: 10px;"></div> | <p style="text-align: right;">p.2</p> <p>経歴 :</p> <div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div> <p>主な研究業績 (5 ～ 10 点) :</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%; margin-top: 10px;"></div> |
|--|--|

6. 2012-13 年度 会長・理事選挙被選挙・選挙有資格者について

投票権者は被選挙人名簿作成期日（2012年2月12日）の時点で日本音楽表現学会の会員資格を有する者です。参考のために現在の会員氏名を記載します。なお、音楽活動を本名以外で行っていらっしゃる方については、そちらの氏名を表示しています。

この中で二重下線を付した会員は今年度で2期目を終了する会長です。会長について被選挙資格はありません。下線を付した会員は今年度で2期目を終了する理事です。理事について被選挙資格はありません。また、網掛けを付した会員は選挙管理委員です。会長、理事とも被選挙資格はありません。

選挙人名簿 削除しました・



ルシアン・ガルバンについての覚書

赤松 林太郎（ピアノ）

モーリス・ラヴェルの存命中、彼を取り巻いていた者たちの中で、ラヴェルの旧友であり、最も忠実だった人物がガルバン（1877-1959）である。ガルバンは一時期、ドイツのある有名な公爵家で家庭教師をしていたこともあったが、第一次世界大戦の始まった1914年にはフランスへの帰国を余儀なくされた。生活手段を失ったガルバンを、ラヴェルは自作を担当していた出版社デュランに校正係として紹介した。例えばペータース社がザウアーを、ウージェル社がP.O. フェルーを抱えていたように、大手出版社は皆、有名な校正者を持っていた。ラヴェルがコンセルヴァトワールで知り合い、共にアパッシュのメンバーだったガルバンのことをいかに気に入っていたかは、彼に自分の自筆譜を贈ったことからよく分かる。その譜こそ『ボレロ』なのだから！

連弾によるラヴェルの『ラ・ヴァルス』はルシアン・ガルバンによる編曲である。そもそも管弦楽曲であったこの作品に対して、作曲者ラヴェル自身はピアノソロとピアノ2台4手のためにスコアを書いている。複雑な管弦楽の書法を用いたラヴェルの作品をピアノ1台4手に編曲することは困難であるにも関わらず、ガルバンはオリジナルの魅力を損なうことないアレンジに成功している。

ガルバンがラヴェルの作品を編曲している有名なものに、（ソプラノ独唱のための）『カディッシュ』が挙げられる。この編曲はヴァイオリンとピアノ用にしたものであり、シャンティエのヴァイオリン独奏、ロジェのピアノ伴奏による演奏は白眉もの。シャンティエとロジェによる共演で『ツィガーヌ』も同じディスクに収録されている。ここで興味深いのは「リュテアル・ピアノ」が用いられている点。リュテアルとはピアノにつける装置の一種で、ツィンバロンやハープの音に似せることができる。ラヴェルは『ツィガーヌ』の当初の構想でツィンバロンの音を模倣するのに用いており、ロゼンタールの回想によると、ラヴェルはある一時期、実際に演奏する時はいつでもリュテアルを使っていたらしい。『子供と魔法』でも大管弦楽の中でもクラブサンの音色がよく聞こえるようにと用いられている。そしてラヴェル自身がピアノ・ロールで残している『絞首台』の録音は何とクラブサンの趣味であることか！ガルバン編による『カディッシュ』に見られる『ツィガーヌ』の独奏を想わせるジブシー起源の運弓法の模倣、そしてリュテアルによるクラブサンの模倣はまさにラヴェルを理解した者の仕事であると言えよう。



新入会員紹介

プライバシーにつき、削除しました。

日本音楽表現学会後援コンサート等情報

山名 敏之 さん **ハイドン クラヴィーア作品大全 Vol.10 — ハイドンのレトリック—**
日 時：2011年10月16日(日) 14:00開演(13:30開場)
会 場：自泉会館(岸和田城、岸和田市役所前)
趣 旨：伊東信宏著『ハイドンのエステルハージ・ソナタを読む』には、楽長としての多忙な日々の中で作曲されたクラヴィーア曲は賄い料理に例える事ができると書かれています。その機略に満ちたハイドンの語り口の魅力とは何か、今回はフォルテピアノとクラヴィコードによって演奏します。
曲 目：ハイドン：クラヴィーアソナタ第12番 in A、第37番 in E、第38番 in F、第39番 in D、第45番：in A、第51番 in Es、12のメヌエット(1792)、オーストリア国歌《神よ国王を守りたまえ》による変奏曲 in G
料 金：無料(科学研究費補助金による。代表者氏名：山名仁 課題番号：21520141)
連絡先：yamana@center.wakayama-u.ac.jp (山名研究室)

三村 晶子 さん **第9回 Moss Concert (高山郁子オーボエコンサート)**
日 時：2011年10月30日(日)
会 場：星誕生音楽堂(大阪府交野市)
趣 旨：交野市民に本格的な室内楽をお楽しみいただくシリーズで、京都市交響楽団首席オーボエ奏者の高山郁子さんと京都女子大学講師の村田睦美さん(ピアノ)による演奏。

赤松 林太郎 さん **東日本大震災復興支援《被災地にピアノを届けるネットワーク》
チャリティーコンサート 2011**
日 時：2011年11月3日(木・祝) 14:00開演
会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟小ホール
主 催：東京バロックアカデミー
共 催：被災地にピアノを届けるネットワーク
出 演：赤松林太郎 (Pf.)、Duo HIBIKI (東桂子&赤松林太郎)、中村初恵 (Sop.)
竹浪明 (映像=)、佐藤久成 (Vn.)、山根孝司 (Cl.)

料 金：入場無料
問 合 せ：officelaparade@m8.gyao.ne.jp

島野 聖章 さん

フランス・リストの世界

日 時：2011年11月13日(日) 14:00 開演 (13:30 開場)
会 場：ミュージック・カフェ・アンジェス (奈良県橿原市新賀町 <http://cafeanges.com/>)
主要内容：シューベルト／リスト編曲：セレナード、リスト：愛の夢、超絶技巧練習曲
第10番へ短調、パガニーニ大練習曲第6番、他
料 金：2000円
連 絡 先：ミュージック・カフェ・アンジェス (tel:0744-35-4018)

赤松 林太郎 さん

小林将 第7回ヴァイオリンリサイタル (ピアノ：赤松林太郎)

日 時：2011年12月13日(火) 18:00 開演
会 場：津田ホール
主 催：小林将後援会
曲 目：ゴルトマルク：組曲 Op.11、
リスト：レメーニの結婚式のための祝婚曲 S.129、二重奏曲(ソナタ)
S.127、協奏的大二重奏曲 S.128
料 金：前売¥3,500- / 当日¥4,000-
問 合 せ：officelaparade@m8.gyao.ne.jp

齊藤 祐 さん

鹿児島大学学友会管弦楽団創立 60 周年記念定期演奏会

日 時：2012年1月14日(土) 18:00 開演 (17:00 開場)
会 場：鹿児島市民文化ホール(第1)
曲 目：マーラー：交響曲第2番<復活>
出 演：鹿児島大学学友会管弦楽団、学友会管弦楽団 60 周年記念合唱団
指揮：下野竜也(鹿児島大学学友会管弦楽団 OB 読売日本交響楽団正指揮者)
ソリスト：ソプラノ半田 美和子 アルト清水 澄華
合唱指導：齊藤 祐(鹿児島大学学友会管弦楽団顧問)
料 金：一般 800円 高校生以下 500円 (当日券は前売りの 200円増)
問 合 せ：HP. <http://kadaioke.web.fc2.com/>

安藤 政輝 さん

安藤政輝 退任記念演奏会

日 時：2012年3月18日（日） 15:00 開演

会 場：東京芸術大学奏楽堂

曲 目：1.《道灌》 栗原廣太 作詞 宮城道雄 作曲
2.《編曲松竹梅》 三津橋勾当 作曲 宮城道雄 編曲
3.《壺越調箏協奏曲》 宮城道雄／下総皖一 作曲

主 催：東京芸術大学音楽学部・東京芸術大学演奏芸術センター

共 催：東京芸術大学音楽学部同声会

入 場 料：無料（整理券が必要です）

問 合 せ：hougakuka.a@gmail.com

会員による CD リリース

狭間 由香 さん

『剣の舞—鍵盤ハーモニカの芸術』

演 奏：はざまゆか（鍵盤ハーモニカ） 吉田桂子（ピアノ）

発 売：ALM RECORDS コジマ録音 ALCD-9108

定 価：2,940 円（税込）

発 売 日：2011年11月7日

安藤 政輝 さん

『安藤政輝 宮城道雄を弾く 2 ～箏独奏曲全集～』

内 容：宮城道雄作曲の箏独奏曲を80分のCDに全曲収録。

発 売：公益財団法人 日本伝統文化振興財団

定 価：¥3,675（税込）

発 売 日：2011年10月19日

会員による新刊

寺内 大輔 さん

『音楽の話をしよう～10代のための音楽講座～』

著 者：寺内 大輔（作曲家・即興演奏家）

漫 画：門倉 フリッツ 貴浩

定 価：1,890 円（本体 1,800 円＋税 90 円）

出 版：ふくろう出版 ISBN-13: 978-4861864827

詳 細：<http://dterauchi.com/ongakunohanashi.html>

「研究サロン」の新設

創立 10 周年を記念して、これまでよりさらに学会員の研究を支援すべく「研究サロン」（仮称）制度を立ち上げます。その趣旨は、学会員がそれぞれ関心のあるテーマやトピックス別に集まり、情報交換を行うことによって、最終的には研究論文として発表できるような「場」を学会内に設置しようというものです。テーマやトピックスとしてはたとえば「発声」「演奏テクニックと音楽表現」「現代音楽の

技法と作品」等、様々な角度からの関心が考えられます。サロンで持ち寄られたテーマやトピックスが大会で共同研究として発表でき、やがては論文執筆につながることを願って企画しました。

ニューズレター 2011-No.3 ではさらに詳細な情報を提供したいと思います。新鮮でワクワクするようなアイデアをどしどしお寄せください。みなさまの声をお待ちしております。（理事会）

第 10 回大会発表募集

このニューズレター最終頁の案内にありますように、第 10 回大会が 2011 年 6 月 23 日（土）～ 24 日（日）に山梨大学教育人間学部で開催されます。会員のみなさまの発表を募集します。日本音楽表現学会では音・音楽表現の例示のために他学会よりも発表時間を長くしています。日頃のご研究をお持ちよりいただき、会員のみなさまと共有、意見交換をしませんか。多数のお申し込みをお待ちしています。

～ ～ ～ ～ ～ 記 ～ ～ ～ ～ ～

発表形態と時間：

| | | | |
|------------|---------------------|------|--------------------|
| 研究発表 | 会員個人による研究発表と質疑 | 10 分 | 40 分 |
| 共同研究 | 2 人以上の共同による研究発表と質疑 | | 90 分 |
| ワークショップ | 実践体験を含むプレゼンテーションと質疑 | | 内容により 40 分または 90 分 |
| デモンストレーション | VTR 作品上映などと質疑 | | 内容により 40 分または 90 分 |

発表申込：発表申込：発表タイトルと発表形態のみを下記の様式にしたがってお申込ください。

※ 切：2012 年 2 月 29 日（水）

申込先：学会事務局 music-expression@music-expression.sakura.ne.jp 宛にお送りください。

* 『大会要項』原稿についての詳細は、申込受付後に申込者にお知らせします。

申込様式

日本音楽表現学会第 10 回大会に発表を申し込みます。

1. 氏 名 _____
2. 連絡先 住 所 〒 _____
電 話 _____
E-mail _____

3. 発表形態と題目 該当欄に○をつけてください。

() 研究発表 題目 _____

() 共同研究 題目 _____

() ワークショップ 題目 _____

希望所要時間 () 40 分 () 90 分

() デモンストレーション題目 _____

希望所要時間 () 40 分 () 90 分

事務局からの重要なお知らせとお願い

1. 『音楽表現学』Vol. 9 刊行と Vol.10 投稿募集のお知らせ

『音楽表現学』Vol. 9 をお届けいたします。機関誌の充実は学会の成長の証しです。Vol.10 の投稿締め切りは2012年5月31日。皆様からのますます活発なご投稿をお待ちいたします。

2. 会費納入について

○年会費未納の方には、今回「未納年会費納入のお願い」を同封しています。学会のすべての活動は皆様方の年会費で運営されております。機関誌の発行、大会の開催などさまざまな活動に支障をきたすことのないよう、速やかな納入をお願いいたします。なお、2009年度の総会において会則改定が認められ、3年以上年会費滞納の場合には会員を「除名」となりますので、ご注意ください。(行き違いご送金済みの場合はご容赦ください。)

○年会費については『音楽表現学』巻末に「経費関係細則」を掲載していますので、ご参照下さい。なお、学生会員は、学部生に限られます(会則第5条)。

○納入は必ず郵便振替でお願いします。無意識滞納対策の一助として、納入後はただちに、右側の「振替払込請求書兼受領証」(ATMご利用の時は「ご利用明細票」)に、納入年度のメモをお残しいただくことをお勧めいたします。なお、学会では原則として改めでの領収書発行はいたしておりません。

* 以上、ご不明の点につきましては、事務局までお問い合わせ下さい。

3. 正しいメールアドレスと連絡先をお届け下さい!

事務局では、さまざまなお知らせをメール配信いたしておりますが、リターン・メールがつねに何通かあります。「最近何も届いていない」という場合、お届けのアドレスが旧アドレスのままである可能性があります。事務局にお問い合わせ下さい。また、メールアドレス、連絡先ご

住所等を変更された場合には、必ず事務局までお届けください。

4. 『音楽表現学』バックナンバー購入方法

ご希望の方はメール等で事務局までお申し込みください。以下の代金は、到着後郵便振替でお願いします。

会員価格: Vol.2～Vol.3は1部1500円+送料

Vol.4～Vol.6は1部3000円+送料

一般価格: Vol.2～Vol.3は1部3000円+送料

Vol.4～Vol.9は1部3500円+送料

大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。

なお、Vol.1は残部がありません。

5. ニュースレターへの投稿

ニュースレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見、掲載記事に関するご意見などを掲載します。テーマは自由です。皆様のご投稿をお待ちします。

- ・研究ノート、随想など: 1600字以内
- ・コンサート案内: 学会後援(申請については後述)のものを掲載します。
- ・新刊案内: 会員による刊行物の紹介を行います。上梓されたら購入方法なども含めてお知らせください。
- ・その他: 所属されている他学会の情報などもお寄せください。
- ・投稿受付は随時、ワードの添付書類で学会事務局宛にお願いします。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

6. 学会の会員サポート制度をご活用下さい。

・研究発表の場の一つが機関誌『音楽表現学』です。本学会は「日本学術団体」の広報協力団体です。『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学術論文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。

- ・大会の口頭発表は、これまでの研究を発信し、それを参加者一同と共有する場です。会員自身の音楽表現の創意や工夫、実践を披露し、その妥当性を問うワークショップなど、日本音楽表現学会ならではの生の音楽表現を含めた発表の

機会をご利用下さい。

- ・コンサートの後援とご案内：会員による各種演奏、ワークショップ、イベントなどの活動を学会は「後援」します。最終頁の「後援願」の様式でお寄せください。

7. 各種書式

以下の書式を参考の上、メール本文貼り付け、またはワード文書添付、あるいは郵送で事務局まで送付してください。

1. 「入会申込書」書式

| | |
|--|--|
| 入 会 申 込 書 日本音楽表現学会に入会を申し込みます。 年 月 日 氏 名 (ふりがな): 専門分野: 所 属: 自宅住所:〒 連絡先:(上記と異なる場合)〒 連絡先 Tel. : 連絡先 Fax. : e-mail : 推薦者名 (学会員・1名) 音楽表現学会に期待されること。ご意見等: | [備考] <ul style="list-style-type: none"> ・「入会申込書」を送付いただきましたら、事務局から年会費納入のための郵便振替票を送ります。年会費ご入金の確認をもって手続きを進め、入会承認後、「入会承認のお知らせ」文書をお手元にお届けします。 ・入会申込書はHPからもダウンロードできます。 ・学会からの連絡(印刷物お届けなど)は、ご記入いただいた「連絡先」に届けます。 ・お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。 |
|--|--|

2. 「後援願」書式

| | |
|--|---|
| コンサート等後援願 日本音楽表現学会の後援をお願いします。 年 月 日 氏 名: コンサート等の名称: コンサート等の趣旨: 主な内容: 期 日: 会 場: 連 絡 先: (HP 掲載連絡先) | 「後援願」が受理されれば、「後援願受理のお知らせ」文書がお手元に届きます。ポスターやチラシの印刷に後援名義が間に合うよう、ゆとりを持って「後援願」をお送り下さい。受理されたコンサート等は順次学会HPに掲載します。 なお、HPの掲載で連絡先が異なる場合は、別途ご記入下さい。 |
|--|---|

- ### 3. その他
- 他の書式が必要なおときには、事務局へお申し出下さい。

日本音楽表現学会第10回大会のご案内

期 日：2012年6月23日（土）～24日（日）

会 場：山梨大学教育人間科学部
山梨県甲府市武田4-4-37

基調講演：

講 師：大場俊一氏（ピアニスト）

テーマ：「らしさ」と音楽表現」

シンポジウム：

企画・司会：安田 香氏（ピアノ・音楽学）

シンポジスト：未定

テーマ：演奏者にとっての「らしさ」とは

研究発表等

現在募集中。詳細は本ニューズレター p.13 をご覧下さい。

アクセス：

【公共交通】・新宿駅⇒甲府駅

電車 JR 中央線 特急「あずさ号」又は「かいじ号」で最速 83 分

バス 新宿駅西口高速バスターミナルより約 130 分

・名古屋⇒甲府駅

電車 JR 中央線（塩尻駅経由）／塩尻駅で特急「しなの」から特急「あずさ」に乗り換え、最短 181 分

電車 東海道新幹線、JR 身延線（静岡駅経由）／静岡駅で「ひかり号」から特急「ふじかわ号」に乗り換え、最短 195 分

バス JR 名古屋駅前バスセンターより約 240 分

・甲府駅⇒甲府キャンパス

バス 甲府駅北口 2 番バス停乗り場より「武田神社」または「積翠寺」行き約 5 分、「山梨大学」下車

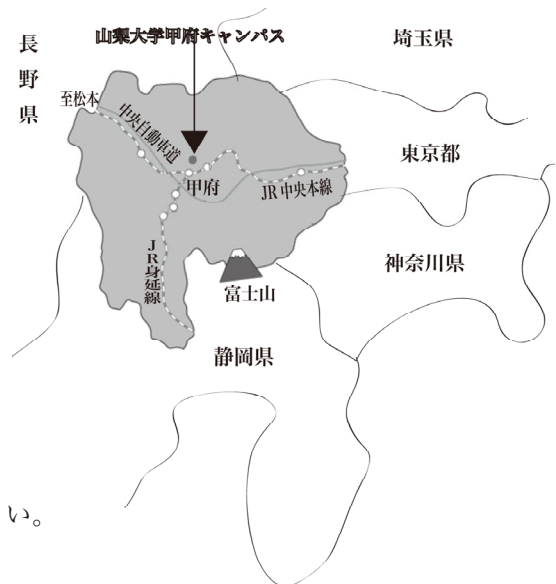
徒歩 甲府駅北口より武田通りを北上、徒歩約 15 分

【自動車】・東京⇒甲府キャンパス

中央自動車道：永福 IC～甲府昭和 IC で下りて、一般道を北東の方角に。

国道 20 号線またはアルプス通り経由で約 20 分

・名古屋⇒甲府キャンパス 東名高速：名古屋 IC～小牧 JCT～中央自動車道：甲府昭和 IC で下りて、一般道を北東の方角に。国道 20 号線またはアルプス通り経由で約 20 分



| 2011 年度役員 | 編集後記 |
|--|--|
| <p>会長：奥 忍</p> <p>理事：安藤 政輝 北山 敦康 杉江 淑子 谷口 雄資 土門 裕之 吉永 誠吾</p> <p>編集委員会： 安藤 珠希 伊野 義博 小野 亮祐 河本 洋一 菅 道子 木下 千代</p> <p>選挙管理委員会： 坂東 肇 中 磯子 井上 朋子</p> <p>監事：長岡 功 海津 幸子</p> <p>会長諮問会議： 草下 實 佐々木 正利 中村 隆夫 安田 香</p> <p>参事：小森 光紗 近藤 晶子 鳶 晴子 似内 裕美子 松井 萌</p> | <p>編集後記</p> <p>本学会は来年で 10 周年を迎えます。歴代の役員は音楽表現に関わるステキな仲間たちのコミュニティを目指して奮闘してきましたが、この度の役員選挙を経て、また一歩新しい時代に向けての歩みを始めようとしています。</p> <p>11 月 27 日、京都で第 2 回目の理事会を開催しました。次回大会に向けてのステキな（画期的な）アイデアが生まれ、ほんとうに心が温かくなり、その温かさを厳寒の北海道に持って帰ってきました。激動の 2011 年は間もなく終わります。みなさま、どうぞ良いお年をお迎え下さい。</p> <p style="text-align: right;">（土門裕之）</p> |